

平成 27 年 8 月 17 日

一般財団法人 熊本放送文化振興財団 事務局御中

知香流熊本支部

支部長 高木 香昌



事業報告

下記のとおり実施いたしましたので報告いたします

記

- 1 事業名 知香流熊本支部創立 60 周年記念花展
「いけばな盛物で描く熊本の風景」
- 2 実施日 2015 年 6 月 5 日（金）～7 日（日）
- 3 実施場所 鶴屋百貨店東館 8 階ふれあいギャラリー
- 4 主催 知香流熊本支部
- 5 後援 熊本県文化協会・熊本県華道協会・熊本日日新聞社
熊本放送・知香流本部
- 6 内容
参加者 48 名 入場者数 約 1800 名

タイトル「いけばな盛物で描く熊本の風景」はこれまで育てていただいた感謝の気持ちと 大好きな熊本をアピールしたいとの思いで企画いたしましたがあまりにも身近で馴染み深く誰もが知っている風景だけに 歴史をまた関わりを調べたり 又、その地の詳しい方にお話を聞いたりする機会に恵まれ お花を通じて地域の文化により深く触れる機会となりました。

試行錯誤の上出来上がった迎え花は 熊本城天守閣のシルエットをバックに楠若葉に見立てた枝ものをいけ 今回の花展のために制作を依頼した山鹿灯籠の長堀（灯籠師 中島清氏 合わせて長さ 1.8 メートル）を足元に添えた大作 個人作は身近な城下町・生活と深く関わる白川・菊池川・緑川・球磨川・五橋

開通から半世紀の天草に分けて展示し サブタイトルを添え分かりやすくいたしました。

城下町コーナーでは 肥後のてまり歌・水前寺涼景・鯉・細川ガラシャ・

本妙寺・肥後こま・肥後まり・夏目漱石・峠の茶屋・霊巖堂 10作

白川コーナーでは 阿蘇の楽しみ(トウモロコシ)・草千里・五岳・竹崎水源・黒川温泉 5作

菊池川コーナーでは 木葉猿・山鹿灯籠・日本一のスイカ・船山古墳・菊池溪谷 5作

緑川コーナーでは 江津湖 川尻の精霊流し・竹細工・鮎・構成窯(蟹) 矢部の茶畑・通潤橋・山頭火 8作

球磨川では 松浜軒・妙見祭・い草・八代の夜空・球磨焼酎・きじ馬・球磨川下り・五木の子守唄 8作

天草のコーナーは ムツゴロウ・御輿来海岸・山鹿灯籠で制作した五号橋、四号橋で天草の風景・釣り・天草のびわ・イルカウォッチング・崎津のマリア様 7作

それぞれの作品への思いを季節の花とテーマにふさわしい民芸品・工芸品をあしらい熊本の魅力を伝えました。それに肥後菖蒲の作品と 熊本市の木“いちろう”の作品をいけ 会場中央には爽やかな風を感じていただける様“みずあかり”の大作を制作いたしました。

心配していた天気にも恵まれ 連日 思いがけない大勢のお客様をお迎えすることが出来 ご来場のお客様からは「懐かしい旅の思い出と重ねながら心豊かなひとときでした」「さわやかな気持ちになりました」と温かい御感想を頂くことが出来ました。 又、鶴屋の関係者の方もあまりの入場者に驚かれ 是非又開催をとのうれしいお話までいただきました。

現在 世界に誇れる日本の大切な伝統文化「いけばな」は いずれの流派も激減し心細さと同時に危機感さえ覚えております。 今回の記念花展では助成金として応援していただくことが叶い大きな励みとなりました。 私たちは“今のいけばな”を担っていることを自覚し これからも今以上に精進しなければと責任を重く受け止める記念花展となりました。

以上

知香流 熊本支部 創立60周年記念花展 決算書

収入の部

項目	金額	適要
積立金	2,338,942	
出瓶料	480,000	10000*48名
雑収入	339,000	祝い金等
補助金	350,000	RKK20万円熊日10万円文化協会5万円
合計	3,507,942	

支出の部

項目	金額	適要
会議費	65,512	打ち合わせ費
会場設営費	789,168	会場設営・諸道具他
印刷費	102,826	案内状・ポスター等
事務費	15,380	事務用品消耗品
通信運搬費	26,246	連絡・案内状切手代
謝礼	67,960	華道協会等返礼
家元必要経費	312,268	指導費・食事代等
負担金	2,500	文化協会負担金
会場費	37,354	リハーサル・添型合わせ・花展早期警備費
花代補助	156,826	会場花材料・長堀(山鹿灯ろうで制作)
打ち上げ反省会費	158,400	鶴屋
記念誌作成費用(写真集)	626,562	熊日サービス開発・RKKメディアプランニング
合計	2,361,002	

残高(次期繰越金) 1,146,940

追記

個人の作品については 花代その他の費用は個人負担

以上のとおり会計報告いたします

平成27年8月17日
知香流熊本支部長

高木香昌